

平成29年第1回黒部市議会3月定例会
一般質問（代表・個人）通告要旨

■一般質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	新政会 木島 信秋	1 平成29年度 予算案 について	
		(1) 財政規律 歳入 ・平成33年度に一般財源の歳入と歳出のバランスが逆転する可能性について、今後の税収と交付税の見込み及び繰り上げ償還の計画について問う ・地区要望の推移の予定について問う	市長
		(2) 農業問題 ・高齢化や担い手不足に対する対応について問う ・営農組織の現状と今後の課題について問う ・農業を支援していく上での行政の役割について問う	市長
		(3) 黒部市民病院 ・新病院改革プランを策定していく中で市民病院の役割について問う ・医師看護師などの人材確保について問う ・利用者の施設運用の対応について問う	市民病院長
		(4) 高齢者及び介護 ・施設での介護人材不足への対応について問う ・ショートステイの実態と対応について問う	市長
		(5) 市民参画 ・「協働の視点でサービス事業の供給方法・実施方法について見直しを図る」とは具体的にどのような取り組みなのかを問う	市長
		(6) 移住・定住 ・立地適正化計画など見直される中で、都市計画全般について見直しを図るのか、さらに具体的なスケジュールや内容についてを問う	市長
		(7) 子育て支援 ・働きながら子育てをする世帯への支援策について問う ・放課後児童健全育成事業(学童保育)で、本市が一定の基準を設ける内容について問う	市長
		2 (仮称)くろべ市民交流センター建設について	
		(1) 複合施設にする理由についてを問う	市長
		(2) 図書館は単独施設が良いと考えるが、複合化した際のメリット、デメリットについて、どのように考えているのかを問う	市長
		(3) 建設に向けた、今後のスケジュールについて問う	市長
		(4) 策定委員会の在り方について問う	市長
		(5) 複合施設へ入居する旨の要望書を提出された、黒部商工会議所への対応について問う	市長

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	新政会 木 島 信 秋	3 観光立国 日本の未来について (1) 富山県の「選ばれ続ける観光地富山 海のあるスイスを目指して」にて示された「立山黒部」の保全利用の提示案について所見を問う (2) 国土形成計画の広域地方計画について(北陸圏が「日本海国土軸の中核圏域としての対応策)所見を問う (3) 富山湾の未来が輝ける構想について、所見を問う (4) 大型クルーズ船・貨物船の誘致について、所見を問う (5) 新川地域 大発展の決意について 所見を問う	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
2	新樹会 伊 東 景 治	1 市民生活のステップアップへの取り組み（労働環境と働き方改革について） (1) 本市の職員の就業状況について、長時間労働が常態になっていないか、またその対策は (2) 特に、医療や看護、介護に従事する人の現状はどうか (3) 市職員の有給休暇あるいは育児休業や介護休業の取得状況について (4) プレミアムフライデーについて本市ではどのように検討されたのか、また今後の取り組みについて (5) 「一億総活躍社会」の一環として、男性も女性も生き生き働く社会作りには、「イクメン」あるいは「イクボス」として男女共同参画社会の定着に参加することが重要ではないか (6) ひとり親家庭にあっては、親が安心して働くには放課後の子どもの居場所が大きな課題である。職場での理解と居場所づくり支援体制が不可欠な要因である。その解決策はあるか	総務企画部長 市民病院事務局長 総務企画部長 市 長 市 長 市 長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	新樹会 伊東景治	<p>2 市民生活のステップアップへの取り組み（安全・安心で住みよいまち）</p> <p>(1) 県は2012年に東日本大震災の教訓をふまえて津波シミュレーションを行ったが、その後の知見の進展を加味して、先月新たな津波シミュレーションを公表した。「災害対策専門研修 トップフォーラムin富山」で市長は、災害が起きた時に自治体のトップが取るべき対応について、学んできたと思うが、県のシミュレーション結果をどのように活かすのか</p> <p>(2) 2月16日にアスクルの物流倉庫で起きた火災で、鎮火に5日間を要している。埼玉県の入間東部地区消防組合によると、倉庫には窓などが少なく、放水が直接できなかったことなどから鎮火に時間がかかったという。 昨年末に糸魚川で発生した大火災も、強風による延焼と十分な放水ができなかったことが挙げられている。これに類した状況は本市にもあると推察されるが、火災が発生した時にどのような消火体制が望ましいのか</p> <p>(3) 道路・橋梁の長寿命化について、橋の寿命は一般に50～80年と言われているが、本市が管理する橋梁の高齢化はどこまで進んでいるのか、また、予防保全の観点から計画的な点検、整備をすべきと思うが</p> <p>(4) 上下水道等インフラ施設の整備について、提案理由説明では、下水道事業の推進においては整備率の向上を目指す中で、効率的で効果的な整備手法を検討して事業を進めるとあったが、具体的な方法と計画は</p>	<p>市長</p> <p>総務企画部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>上下水道部長</p>
		<p>3 市民生活のステップアップへの取り組み（子どもの教育と支援について）</p> <p>(1) 2016年度の全国学力・学習調査いわゆる学力テストの結果であるが、市町村別の成績はすでに発表されているが、どうであったか、またどのように対応したか</p> <p>(2) 昨年末に全国体力テストの結果が公表されたが、本市の結果はどうであったか、またどのように対応したか</p> <p>(3) 2019年度の全国学力テストでは中学3年生を対象に、英語について「読む・聞く・書く・話す」の4技能のうち「話す」力の調査を行う方針とのことである。教育委員会では、指導要領改訂にむけた取り組みと合わせて、検討がされているのか</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	新樹会 伊東景治	<p>4 市民生活のステップアップへの取り組み（公共交通とまちづくり）</p> <p>(1) バス停付近の利用しやすい人に乗り慣れてもらうことが利用促進の取り組みの一つであるが、これまでこの点についてどんな取り組みがされたか</p> <p>(2) 新幹線市街地線は、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅とあいの風とやま鉄道黒部駅の接続時刻を意識してルートがきめられているようで、良く利用される場所、あるいは重点場所を拠点に、多くの人を利用できる運行ルートを考えれば良いのではないか</p> <p>(3) 南北循環線以外の既存のバスについて、利用が低調であるが運行について改善をして運行を続けるのか、新たなルートを今後検討するのか</p>	<p>総務企画部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
3	新風の会 山田丈二	<p>1 新川圏域の医療について</p> <p>(1) 災害に強い病院について ・見直しされた、指定要因に対しての、具体的な対策・対応の実施は</p> <p>(2) 新川医療圏内における公的病院間と地域医療の連携体制について ・公的病院間の機能分担及び連携をどのように考えているか ・「扇状地ネット」を活用した医療体制の現状と課題は ・医療圏内での完結の考え方について、また、入院患者の完結率は</p> <p>(3) 「黒部市民病院新改革プラン」(案)について ・示された「新ガイドライン」は ・「新改革プラン」(案)の基本方針は</p> <p>(4) 看護体制について ・7対1看護体制を担う課題は</p> <p>(5) 病院の経営について ・経営健全化に向けどのように取り組むのか</p> <p>(6) 初期臨床研修医マッチングについて ・近年のマッチング状況(5年程度)また、臨床研修医の受け入れ目的、担う役割は ・新川医療圏での臨床研修医の関わりは</p> <p>(7) グランドオープンに向けて ・改めて、新川医療圏の中核病院としての決意(思い)は</p> <p>(8) 市民・患者の目線にたつてのサービスの充実は ・認知症医療の充実について「もの忘れ外来(仮称)」開設の思いは ・駐車場について 増加台数、不法駐車車両への対策及び公共交通との連携は ・マイナンバー制度医療について マイナンバーの時期はまた、メリット・デメリットは</p>	<p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院長</p> <p>市民病院長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院長</p> <p>市民病院長</p> <p>市民病院事務局長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	新風の会 山田 丈二	<p>2 黒部市地域防災について</p> <p>(1) 防災上、指定されている住宅密集地の対策について ・防災ラジオ普及状況(特に高齢者一人世帯)と未設置者世帯への対処は ・オープンスペース(広場等)、特に、避難路確保の計画を</p> <p>(2) 女性消防団への支援について ・「第23回全国女性消防操法大会」への支援を(県代表)</p>	<p>総務企画部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
4	日本共産党 橋本文一	<p>1 (仮称)くろべ市民交流センター建設について</p> <p>(1) これまでも、公共施設等の建設によって、商店街の活性化に繋がると、言われてきたが、活性化につながっていないのが現状であると思う。どうか</p> <p>(2) 子育て支援センターについては、現在、黒部ショッピングセンターメルシーの2階に設置されている。駐車場が広いことや、地下駐車場もあり雨の日は濡れない、その上帰りには買い物もできると喜ばれている。なぜ、複合化を行うのか。また、宇奈月の子育て支援センターはどうなるのか</p> <p>(3) それぞれの地区公民館は住民自治の拠点となる施設である。三日市公民館を複合施設に加えることの、メリットとデメリットをどう考えるか</p> <p>(4) 図書館、働く婦人の家、市民会館、子育て支援センター、三日市公民館、その上に商工会議所も入りたいとの要望書が提出された。商工会議所は民間団体であり、入居はありえないと思うが</p> <p>(5) 複合化しようとしている既存施設の駐車場は現在170台のスペースがある。現在計画中的の「くろべ市民交流センター」は旧市役所跡地で70台しか駐車できないとのことである。いくら公共バスがあるとしてもあまりにも少なすぎる。住民サービスが良くなったといえるか。むしろ悪くなるのではないか</p> <p>(6) せめて図書館だけは単独で建設すべきとの声が多く寄せられます。朝日町では図書館を複合施設での計画であった。住民と議員との協議によって図書館が単独で建設された。いまの市民会館を解体し木造建築による図書館を、単独で建設すべきと思うが、改めて伺う</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

■一般質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	川上 浩 (一問一答方式)	<p>1 公募提案型協働事業の実績とその評価、今後の展開について</p> <p>(1) 公募提案型協働事業の取組実績はどうであったか</p> <p>(2) その実績に対してどのように評価をしているのか</p> <p>(3) 交流センター(公民館)は地域の情報収集、地域活動、行政との情報共有の拠点としての役割を担っている。今後、協働事業への取組促進、展開はどのように考えているのか</p>	市長 市長 市長
		<p>2 複合化による「くろべ市民交流センター計画」の問題点について</p> <p>(1) 再度確認しますが、なぜ図書館をコアとした複合施設ありきで策定委員会に諮問されたのですか。また子育て支援センターなどは、協議途中から盛り込まれたのではないか</p> <p>(2) 図書館建設検討委員会は、生涯学習センター的機能を持たせた多機能化を求めていたのであり、三日市地区の地区公民館活動と合わせて、自治振興会活動、自主防災活動、地域社協活動など地域活動の拠点としての役割を担う三日市公民館ではその機能を果しえないのではないか</p> <p>(3) 策定委員会でも駐車台数の問題や図書館としてあり方から単独施設化などの意見も出されていたが、今後の設計の段階でと、先送りされたのではないか</p> <p>(4) 延べ床面積、階数を盛り込んだ答申後に、昨年12月要望のあった商工会議所の入居を市長サイドで検討するというが、そもそも複合施設を検討してきた策定委員会の検討をないがしろにするものではないか</p> <p>(5) 旧庁舎跡地での図書館をコアとした複合施設には無理があり、三日市公民館、図書館をそれぞれ単独で建設し、生涯学習センター、会議室などの機能は、周辺施設、中央公民館などを考慮しながら機能を検討することが必要と考えるがいかがか。また黒部子育て支援センターは現在の商業施設での存続を求めるがいかがか</p>	市長 市長 市長 市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	高野早苗 (一問一答方式)	1 利用しやすい図書館について (1) 黒部市の図書館の利用状況について伺う (2) 図書館のコピー代は見直せないか伺う (3) 本へのICタグを取り付ける導入はできないか伺う (4) 購入する本は誰が選定しているのか伺う (5) 学校図書館と連携できないか伺う (6) 郷土資料をわかりやすく見れないか伺う (7) 図書館のあり方についてのシンポジウムを開催できないか伺う	教育部長 教育部長 教育部長 教育部長 教育部長 教育長
		2 パブリックコメント（意見公募）について (1) これまでの取り組み及び効果はどうか伺う (2) 参画しやすい方法はないか伺う (3) 今後パブリックコメントにどのように期待するのか伺う	総務企画部長 総務企画部長 市長
3	柴沢太郎 (一問一答方式)	1 相続登記・相続放棄・未登記について (1) 特定空き家に6月3日に5件、10月28日に9件認定が為されているが、現在の状況は。また今後の対応に関して伺う (2) 黒部市において、被相続人の財産を相続人全てが相続放棄したり、被相続人に相続人が不存在であることから、土地等が国庫に帰属した事例は過去にあるのか (3) 相続登記が為されないことから、相続人の範囲が膨れ上がり、様々な諸問題の解決が複雑困難化してきている。市からも固定資産税納付義務者に相続登記の重要性や、その周知を強化すべきでは (4) 未登記建物に対して課税はどのような状況になっているのか (5) 黒部市において、固定資産税が免税点未満となっている土地・建物の件数は (6) 未登記建物の中に存在する、誰の所有か分からない建造物や、固定資産税が免税点未満となっているため土地・建物が被相続人の法定相続人であることを認識していない方が多く存在する。将来のためにも、まずはエリア(戦前から在る市内区域)を中心に区切ってでも調査を行い、法定相続人に適正な管理を促すことが必要と考えるが	都市建設部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	谷口弘義 (一問一答方式)	<p>1 年金制度について</p> <p>(1) 厚生労働省は、1月27日に昨年の消費者物価指数が0.1%下落したことから、4月から厚生年金と国民年金を0.1%引き下げることを発表した。このことから、障害年金、ひとり親家庭に対する児童扶養手当、障がい児の保護者に対する特別児童扶養手当、原子爆弾被爆者に対する健康管理手当など0.1%引き下げとなる。このことで市民の年金等の削減総額はいくらか</p> <p>(2) 公的年金は、賃金や物価の上昇分を毎年反映して支給額を増やす仕組みになっていた。マクロ経済スライド制の導入で賃金や物価の上昇分より、おさえる仕組みになった。平成25年度10月から平成27年度までの3年間で、本来の年金支給水準より高く払っていたこととして2.5%減額した。市内の年金受給者は平成24年度と比べこの3年間でいくら削減されたのか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>
		<p>2 高齢者医療費の負担増について</p> <p>(1) 後期高齢者医療制度加入者の保険料の軽減措置がこの4月から縮小することになった。所得に応じて支払う所得割は5割軽減から2割軽減に縮小。会社の健康保険組合等に加入者の扶養家族から、後期高齢者医療制度に移らされた人の保険料の定額部分も、9割軽減だったものを7割軽減に減らすことになる。富山県後期高齢者医療広域連合の「年金収入のみの人の保険料のめやす」の年額表にもとづく、どうなるのか。 黒部市の後期高齢者医療制度加入者全体の負担増はいくらか</p> <p>(2) 厚生労働省は、後期高齢者医療制度で自営業者などの加入者から保険料を誤って徴収していたことを発表した。システムの誤りは2011年にわかり、この4月から還付や追加徴収を行うとしている。富山県後期高齢者医療広域連合には連絡があったのか。誤った徴収額は発生するのか。発生するとすれば、還付や追加徴収は対象者全体でいくらか</p> <p>(3) 医療費の自己負担に月額上限額を設ける「高額療養費制度」は8月から住民税課税がされている70歳以上の人の負担上限額を引き上げる。年収370万円未満で住民税を払っている人の場合、外来の負担上限額が月額2,000円上がって14,000円になる。入院を含む上限額も13,200円増えて57,600円になる。国保を含む市内の対象者の負担増となる総額はいくらか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	谷口弘義 (一問一答方式)	<p>3 非正規雇用問題について</p> <p>(1) 安倍政治の下、格差が拡大し労働環境が悪くなっている。総務省の2016年調査では、非正規雇用者が、雇用者全体(役員を除く)の37.5%になった。2014年のデータでは正規雇用者の平均年収477万7千円、非正規雇用者169万7千円と非正規雇用者は正規雇用者と比べ賃金が年収で308万円も低い。このような労働環境は改善する必要があると考えるが、どうか</p> <p>(2) 黒部市の嘱託職員(フルタイム)の賃金は144,000円～180,000円となっている。平均賃金、平均年収はいくらか。官制ワーキングプアと呼ばれるような労働環境、労働者を作ってはならない。市が雇用している全ての嘱託職員の処遇改善は必要と考えるが、どうか</p> <p>(3) 保育士の待遇改善について、「平成28年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準じた保育士等の待遇改善(保育士平均+1.3%)を平成29年度の公定価格に反映する」としている。詳しい内容はどうか。 一方、保育士等(民間)の処遇改善として、民間保育所等に勤務する全ての職員を対象とした2%(月額6,000円程度)の処遇改善に加えて、キャリアアップの仕組みを構築し、経験年数が概ね7年以上の技能・経験を積んだ中堅職員に対して、月額4万円などの追加的な処遇改善を実施する。としている。 市は保育所で多くの嘱託の保育士を雇用している。賃金は、勤続5年未満で、151,000円、勤続10年以上で166,000円と非常に低い。市内の民間保育所全部の平均給与よりもはるかに低い。国は民間の保育所の処遇改善に力を入れている。市は嘱託保育士の処遇改善にもっと力を入れるべきと考えるが、どうか</p>	市長 市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	小柳 勇人 (一問一答方式)	1 観光振興計画について	
		(1) 富山県が「選ばれ続ける観光地富山 海のあるスイスを目指して」を昨年12月21日に公表されました。本市への影響や、連携をしていくことなど所感を伺います	市長
		(2) 国が観光立国を目指し、県も「海のあるスイス」を目指す方向を示されました。「明日の日本を支える観光ビジョン」の3つの視点と10の改革を本市では、どのように捉え、「観光先進地」を目指していくのか考え方を伺います	市長
		(3) 観光振興計画の中では、黒部市の役割が、観光地域振興と観光産業振興の両面を支援していく方向と感じられます。両面について、どのような考え方で推進されるのか、また振興策の目標値をどのように考えるかを伺います	産業経済部長
		(4) 成果が生み出せる仕組みへ市内の観光関連組織を強化していくために、客観的なデータをもとに推進していくとありますが、客観的データとは、どのような内容で、具体的にどのように抽出していくのかを伺います	産業経済部長
		(5) 黒部・宇奈月観光局のこれまでの成果と今後の課題についてを伺います。特に今後の役割とその目標値については、具体的にどのように設定されているのかを伺います	産業経済部長
		2 地域活動の拠点整備について	
		(1) 地区公民館とコミュニティセンターの違いについて伺います	教育部長
		(2) 生涯学習拠点としての地区公民館の役割について、また現状の活動の成果についてを伺います	教育部長
		(3) 16地区の公民館が、実質的に自治振興会の事務局機能を支える中で、より効率的な事業を行えるよう行政としてどのようなサポートが可能かを伺います	総務企画部長
		(4) 災害時、各地区の防災拠点施設としてのコミュニティセンターの役割について伺います	総務企画部長
		(5) 現況の16地区の防災拠点としての整備状況を伺います	総務企画部長
(6) 各地区における地区公民館(コミュニティセンター)の整備方針について市長の見解を伺います	市長		

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	辻 靖 雄 (一括方式)	1 (仮称)くろべ市民交流センターの建設について (1) 商工会議所の入居要望を躊躇する理由は (2) バス停、駐輪場の設置を (3) 市の直営(従来方式)のメリットは (4) 何故5階建てはダメなのか	市長 市長 市長 市長
		2 市営小水力(マイクロ)発電と公共交通について (1) 小水力発電のさらなる可能性は (2) マイクロ発電の設置構想の具体策は (3) 地産地消の電気で軽四カーを市内に走らせる効果は (4) 官民協働で持続可能な公共交通に挑戦を (5) 水を活かした日本一のエコタウンを実現できるか	市長 市長 市長 市長 市長
		3 最新の設備(製氷、冷凍、冷蔵)環境で「くろべの魚」の発信を (1) 約2億円の投資内容と展望は (2) 「浜の活力再生プラン」の取り組み支援は (3) 魚の駅「生地」の更なる営業力向上の支援を (4) 地元の居酒屋、温泉地にPRの工夫を (5) 根室市との「魚」の交流拡大を (6) 「ひらめ」等商品の販売開拓支援を	市長 市長 市長 市長 市長 市長
7	村 井 洋 子 (一問一答方式)	1 黒部市仏舎利塔 納骨堂について (1) 希望されている方は何人いるのか。また現在、納骨堂内にはボックスは総数でいくつあるのか。使用されていないボックスはいくつあるのか (2) 募集の予定はあるのか。また、募集はどのように行われるのか (3) 平成29年度予算の説明では、納骨室返還使用料還付金として計上されているが、何件を予想しているのか (4) 宮野墓地公園の状況は (5) 墓地よりも現在はボックスを求める傾向が高い。墓地公園敷地の活用はできないか (6) 今後、新たに納骨堂の増設は考えられないか	市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 都市建設部長 市民生活部長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	村井洋子 (一問一答方式)	2 高齢者を特殊詐欺から守るために (1) 黒部市における特殊詐欺被害の現状について、昨年度の被害件数と被害金額は (2) 現在は、どのような特殊詐欺が多いのか。また、本市での犯行の手口は (3) 税金の還付などを口実に、市役所職員をよそおっての犯行などの特殊詐欺に対して、市としてどのような方法で市民に注意喚起していくのか (4) 地域で取り組めることはあるのか	市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長
8	成川正幸 (一問一答方式)	1 郷土芸能・伝統文化の継承について (1) 黒部市には、郷土芸能、伝統文化などが、現在どれだけ存在しているのか。また、それらを大切な宝であると認識があるのか伺う (2) 現在、認知させるため、またその価値に気付かせる為に行っていることはあるのか伺う (3) 郷土芸能の支援と指導者や後継者育成の現状をどう考えているのか伺う (4) 地域を愛する気持ちは、子どもの頃に体験した効果が大きいといわれている。「ふるさと教育」を積極的に進めていけないのか伺う (5) 郷土芸能、伝統文化の存在とよさが人々に伝わるように情報発信することが必要だと考える。そのためには現在残されているものをまとめる必要がある。未来を見据えて冊子、あるいはデジタルでまとめる準備を始めてはどうか伺う (6) 現在、そして10年後にはどうなっていると思うかを知る上で聞き取り調査を行ってはどうか伺う (7) 郷土芸能、伝統文化だけではなく、史跡なども含めて、今後(10年後)の存続が危ぶまれる。「黒部市危機遺産リスト」の作成をしてはどうか伺う 2 公民連携 (PPP) について (1) 本市において公民連携の取組みと必要性について、どのような考えか伺う (2) 気軽に相談できる窓口の開設や意見交換会、セミナー開催などを検討してはどうか伺う (3) NPOなどの市民団体が委託を受けやすくする環境を整え、担い手となるための基盤強化の支援も必要であると考える。支援の考え方について伺う (4) 現在、平成30年度から始まる第2次黒部市総合振興計画の策定作業が行われている。その中の計画にもある市民との協働が、今後ますます増えていくことが予想される。公民連携について、目的、考え方、導入範囲など一定の決まりである「指針、ガイドライン」を本市において策定してはどうか伺う	教育部長 教育部長 教育部長 教育長 教育部長 教育部長 教育部長 教育部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	橋本文一 (一括方式)	1 宇奈月麦酒館と宇奈月ビール株式会社について (1) 宇奈月ビールを核とした道の駅うなづきブランディングプロジェクト事業とは (2) 事業拡大によってビール麦の増産はあるのか (3) 宇奈月麦酒館は、道の駅となっている。当初、食菜館を建設されるとき、地元産の産野菜等を多く販売するとの計画であったが、現在どのような状況か。成っていないとすれば何故なのか。 (4) 宇奈月ビール株式会社の経営が厳しいと聴いていた。25年からの経営状況はどうか。また毎年貸付金500万円を返済するとの約束であった。28年度の貸付金は5600万円であったが、返済の約束は守られたのか。また、いくら返済されたのか (5) 今後、麦酒館への予想される、設備投資は有るのか	産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長
		2 マイナンバー制度と個人住民税の特別徴収制度について (1) 住民にとってメリットもなく中小業者に重い罰則で管理実務と責任を押し付けるマイナンバー制度は中止・廃止するよう国に要望し、利用拡大に反対すべきと思う。どうか (2) 個人住民税の特別徴収については、小規模事業者への義務化を強制せず、負担軽減のための除外措置を設けるべきと思う。 また従業員本人の承諾を得ないにもかかわらず、市が事業所に従業員のマイナンバーを通知することは、厳に慎むべきと思うが。どうか	総務企画部長 総務企画部長

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式